

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おはなのいえ木場		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日 ~ 令和7年 4月 18日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 19
○従業員評価実施期間	令和7年 4月 1日 ~ 令和7年 4月 10日		
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 5月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもを理解し、特性に応じた専門性のある支援が受けられる。	ひとりひとりの特性や、背景などあらゆる場面から読み取るようにしています。会話を広げ、一緒に過ごし日々のアセスメント取得にもつなげられるようにしています。またおはなのいえでは家事スキルを高めるために掃除や、洗濯、調理を一人ひとりのスキルに合わせ目標設定しています。	弱みにもあるように職員同士の連携は課題でもありました。新規メンバーにもなり職員の意欲向上心は高まっています。さらなる支援の質の良さを見守っていただけたらと思っています。
2	こどもや家族からの相談や申し入れについて対応の体制が整備されている。	個別の時間を確保し、お子さまの悩みやニーズを聞き取りしています。その内容について保護者様との面談につながったり、関係機関との情報共有の場を設定させてもらっています。	保護者様との面談は、長くても半年に一度ですが、おはなのいえではニーズに合わせ、早めのお声掛けをさせていただいています。目標設定だけでなく密にお話しができることは日々の支援への大きな働きかけになります。いつもご協力ありがとうございます。
3	事業所が公表する支援プログラムは事業所の提供する支援内容と合っている。	SST(ソーシャルスキルトレーニング)や、認知力向上のためのトレーニング、そして家事スキルの3本柱で支援内容を考えています。自立のための橋渡しができるように日々支援させていただいています。	支援内容のレポートリーの必要性や、人材育成には勉強会や、法人内での事業所内研修を通じて行います。また、職員が自信を持って支援に関わることができる風通しの良い職場としても今後取り組みの強化を行っていきたいと思っています。

	事業所の弱み(※) だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	全体的に業務の改善は、早急に必要かと感じられる。	連携の時間確保や、業務遂行時のスケジュール管理など管理職は職員のニーズ、思いを受け止め職員は、支援者として責任のある行動を求められている。	人事異動を行っています。さらなる質の向上、またこれまでの反省点を改善し従事することや、アンケート集計後に緊急に法人内で研修を行いました。個々の課題や、チームとしての課題検討は、日々行い実施するようにしています。
2	父母の会や、きょうだい同士の支援についてわからないところがある。	父母の会においては、主に月に一回の保護者会からの広がりや理想としているが、大勢の集まりはなかなか実現できない。	きょうだい同士の関りにおいても積極的には行っておりませんが、ぜひ保護者会においてその機会を多く活用して欲しいと思っています。
3	児童クラブ、地域交流の機会があるか。	職員の評価も“いいえ”が多いです。実際の課題解決に関しましては右記欄に示します。	積極的な関与はございません。おはなのいえに通うお子さまのプライドや学習期、青年期の心の葛藤に向き合うための配慮だと感じています。ゼロの状況はありませんが、控えたい時期には控えます。積極的な活動が子どもたちにとってメリットになる時期には、様々な活動参加を行います。